

令和二年度総会開催

石垣市シルバー人材センターの令和二年度総会が、去る六月六日に市老人福祉センターで開催されました。



総会は新型コロナウイルス対策実施のため、参加人数を二十人程度に抑え、全員マスクを着用し、入り口での検温後、始まりました。

大松理事長の挨拶に続き、議長に石垣博史さんを選任した後、古謝事務局長の事業報告がありました。

◎ 令和元年度事業報告

安全管理委員会と安全適正就業推進員が中心となり、毎月一回の安全集会を開催し、事故が発生した時は緊急安全集会の開催と巡回パトロールの回数を増やすことにより、就業会員の安全就業意識の向上に取り組んだ結果、

シルバー人材センター

基本理念

自主

社会の受け手ではなく、社会の担い手として

自立

センターの運営に自発的に参加していくこと

共働

会員みんなが、お互いに手を携えて

共助

共に助け合って働くこと

「みんなで覚えておこうね♪」

「シルバー人材センターに行ったら、これまでの経験を活かして働けるってよ」「地域のためにも働けるってよ」「新たな挑戦が毎日の喜び」

行ってみよう♪石垣市シルバー人材センター

「石垣市にお住まいの六〇歳以上の方お待ちしています。」

サンサンラジオで流れる♪

事故件数は三件となり、前年度に比べ一件の増となりました。安全就業はシルバー人材センター事業遂行の基本であり、次年度も引き続き傷害・損害事故の撲滅を目指して安全適正就業に努めてゆきます。

以下事業実施報告の概要をお知らせします。

一. 受託事業実績

- ① 会員数 三七二人 ② 新規入会者 三〇人
- ③ 就業延べ人数 二万八〇九二人/日
- ④ 受注実績 一億五三六九万六〇七二円

二. 労働者派遣事業実績

- ① 就業延べ人数 一〇三五人/日 ② 派遣先事業所数 三事業所
- ③ 労働者派遣事業実績 四二九万二六九七円

三. 講習会の実施

- ① 講習会数 二回 ② 受講者数 一二七名

四. 普及啓発促進活動

- ① 社会貢献活動の実施 参加者 七五名
- ② 入会の声掛け活動 参加者 七五名

五. 安全・適正就業推進

- ① 安全適正就業委員会の開催 二回 ② 巡回パトロール 年間二〇回
- ③ 安全大会の開催 参加者 五六名

六. 就業分野の開拓・拡大

- ① 開拓日数 一六七回 ② 訪問件数 一六二四件
- 開拓を行った会員数 六一名

七. 相談・情報提供

- 入会説明会・相談会の開催 年間一六回

八. 運営体制

- ① 定時総会の開催 一回 ② 理事会の開催 一七回
- ③ その他必要な会議の開催 (広報部会開催六回、事業部会開催二回、総務部

会開催四回)



◎ 令和二年度事業計画

一. 基本理念

石垣市に居住する高齢者が自主的な組織参加と労働能力の発揮により、組織の基本理念「自主・自立・共働・共助」のもとにセンターの発展を推進し、地域の担い手として高齢者の活力及び地域社会の活力向上を目指す。

二. 基本方針

- (1) 高齢者の入会促進と社会参加を促進するため、就業機会の確保拡大に努める。
- (2) 安全・適正就業の推進に努める。
- (3) 組織強化及び活性化を図るとともに、財政基盤の強化に努める。
- (4) 公益法人として、公益的事業の着実な実施と法に準拠した運営に努める。

三. 実施計画

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

① 受託事業 数値目標

ア 会員数 四一〇人

イ 新規入会者 五五人

ウ 就業延べ人員 三二、〇〇〇人/年

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な就業機会の提供

はその他の軽易な就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

② 労働者派遣事業(シルバー派遣事業)

(3) 臨時的かつ短期的な就業またはその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

ア 講習回数 三回

イ 受講者数 一五〇名

(4) 右記(1)から(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

ア 地域の高齢者へ、シルバー人材センター事業をマスメディアなどの媒体を通して周知し、事業参加の呼びかけを行う。

イ シルバー便りの発行 (三回以上)

ウ ボランティア活動等の実施

エ ホームページによる情報提供を行う

オ 行政及び関係団体等との連携強化

② 安全・適正就業推進

ア 安全・適正就業委員会の開催と安全対策推進実施計画の策定

イ 安全・適正就業推進員による巡回指導強化

ウ 安全・適正就業強化月間の取り組み

工 安全就業に対する意識高揚を図るため、毎月一回早朝に安全集会を開催する。

才 受注契約の内容や就業形態について、自主点検表による確認を行い、業務についてもローテーション就業やワークシェアリングの徹底による適正就業に取り組む。

③ 調査研究

高齢者の就業に対する意識調査及び域のニーズや時代の要請に対応した事業展開を図るための調査研究を行なう。

④ 就業分野の開拓・拡大

地域社会における各分野の課題に 대응するため、地方公共団体と連携した地域密着型の事業を行う。

⑥ 相談・情報提供

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、「できることを」「できる範囲で」行う社会参加活動を行う。

四. 運営体制

① 会議

定時総会・理事会の開催・その他必要な会議の開催

② 事務局体制の充実

センターの事業運営には事務局体制の充実が不可欠であり、そのために事務局職員の資質向上を図る。

私の仕事場紹介

酒販店の商品出入荷確認業務

シルバー人材センターでご活躍されている仲間の皆様方、クォーマナー、お元気ですか。今回は私仕事場の様子を少しだけ覗かせてもらいます。

私達は三人のメンバーで二週間の出番があり、次の一週間はお休みのローテーションで働いています。早番は午前十時から午後二時まで、遅番は午後二時から午後六時までの四時間の就業時間です。



主な仕事は一通りから成り立っています。一つ目は酒販店の倉庫内での商品出荷の検品

確認業務です。そして港湾関係の運送会社や造り酒屋、各事業所からの商品納入の検品と伝票のチェック等です。

最西端の与那国島から最南端の波照間島までの各離島の船便網で結んで商品の発送を行なっています。まず職員が発注書の伝票に基づいて商品を出してきます。この際に私達は、商品名と個数を正しくチェックし、責任感と正確さをモットーに共同体の形で確認して記録帳に書き留めます。その後は職員が荷造りし、船便の時間帯に合わせて配達と発送の仕事の流れで働いています。

二つ目は、品出し後の空箱をたたんで束ねたり、梱包をはずしたビニールシートを片付けたり、分別したゴミを出したりします。これをしてないと、これらのゴミで作業場の動きがとれなくなるのです。

職員の皆様方は個性的で、十人十色の豊かな性格の方達です。私達にも穏やかな言葉で労わり接してください。忙しい中にも和気あいあいと自分のモチベーションの仕事に励んでいます。

時々、若者達同士の省略した現代用語の会話には、昭和二桁の自分には理解困難極まる時もあります。何とも微笑ましく楽しい仕事場でございます。皆さんの行動力と実行力には、いつも元氣と勇氣をもらって働いています。これからも元氣で働けることに感謝して、仲間達と共に頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

(玉城 幸子 記)

★ ボランティア活動紹介

植栽手入れ作業

老人福祉センター入り口の道路清掃と植え込みの植栽手入れを、橋本宏さんと橋本裕子さんが定期的に、ボランティアとして活動してくれています。

この活動は平成二十年ころから毎年四回実施されており、皆さんがセンターを訪ねるときは、感謝の気持ちを持って見ていただけることを希望します。



私の趣味紹介

下里 初子

私の趣味は洋裁で服の手直しをしたり、手先を使った細かい裁縫の仕事をすることです。今回のコロナ対策の一つとして、少しでもが手作りマスクを作成してみました。会員の皆さんのお役に立てれば幸いです。



事務局より

会員が安全に就業できるように活用させて頂きます。ありがとうございます。

お知らせ

★主要行事予定

◎ 石垣市シルバー人材センター安全・適

正就業推進大会

場所 市老人福祉センター集会室

日時 令和二年七月二十一日 九時

★シルバー人材センターで生甲斐作り

会員募集 楽しく一緒に働いてみませんか？地域のために！

入会説明会：毎月十日（土日・祝日は繰

上）午前十時～事務所にて

問合せ先：石垣市シルバー人材センター



編集後記

今号はコロナ禍における令和二年度総会の内容をお知らせしております。

石垣市内ではようやくコロナの影響も収まりつつありますが、本州方面ではまだまだ油断のできない毎日です。会員の皆様におかれましては、気をつけてご活躍をされますようお願いいたします。 広報部会

【編集発行】 公益社団法人

石垣市シルバー人材センター

〒907-0002

沖縄県石垣市真栄里402番地

TEL 0980-83-8439

FAX 0980-83-8459